

2015年9月14日

タイ子会社の新工場が完成 ～太陽光発電用パワーコンディショナの生産体制を強化～

田淵電機株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：貝方士利浩）は、タイ子会社 Thai Tabuchi Electric Co., Ltd.（以下、タイ国田淵電機）内で進めていた新工場の建設工事が完了し、本格稼働による製品出荷を開始しましたので、お知らせいたします。主に北米向け太陽光発電用パワーコンディショナの供給拠点とします。



このたび完成した新工場の外観



盛大に举行された竣工式

当社グループは、東南アジアを管轄するグループ拠点として、1987年にタイ国田淵電機を設立し、高周波・低周波トランスからパワーコンディショナへと事業領域を広げてまいりました。このたび、太陽光発電の普及拡大に伴うパワーコンディショナの需要増に対応するため、タイ国田淵電機の敷地内に新工場を建設することといたしました。

今回の増設の狙いは、当社のパワーエレクトロニクス事業ブランド「EneTelus」（エネテラス）製品の生産能力を高めるとともに、より効率的な生産基盤を構築することにあります。それに対応するため、生産ラインの配置改善や新機器の投入により、製造従事者一人あたりの生産性を高めました。新工場は本格的な量産体制に入りましたが、今後の需要動向を見据えて、さらなる生産ラインの拡充も検討してまいります。

<タイ国田淵電機の概要>

所在地：88 Moo 5 Bangna-Trad Highway, Tambol Bangsamuk, Amphur Bangpakong, Chachoengsao 24130, Thailand

代表者：社長 杉谷純之介

資本金：100百万タイバーツ（約340百万円）

面積：敷地 33,000 m²、既存工場 13,500 m²、新工場 6,400 m²

生産品目：パワーコンディショナ、エアコン用リアクタ、各種電気機器用トランスほか

初期投資：12.8百万USドル（約1,550百万円、新工場分）